

こんにちは 魚沼市議会です



平成30年第2回定例会 No.61



CONTENTS

定例会・市長行政報告・補正予算	2
議案賛否の状況	3
一般質問	4～11
常任・特別委員会報告	12～14
議会の活動をお知らせします	15

「私の住むまち」

堀之内高校 美術部 写真班
3年 若井結利佳さん

議会報告会	16
議員定数削減が可決	17
市民の声・あとがき	18

〈発行責任者 議長 森島守人〉 広報編集特別委員長 高野 甲子雄 副委員長 星野 みゆき
委員 星 直樹 浅井宏昭 大桃俊彦 佐藤敏雄

第2回定例会報告

平成30年第2回（6月）定例会が、6月14日から7月4日までの21日間の会期で開催されました。初日に、専決処分承認6件、平成30年度一般会計補正予算（第2号）、平成30年度ガス事業会計補正予算（第1号）を可決し、人権擁護候補者2人は適任とし、監査委員に同意しました。6月20、21日には、16人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われました。7月4日の最終日には、条例改正案等の議案の採決を行い、全議案を原案可決としました。議員からは3件の議案提出があり、そのうち「魚沼市議会議員の定数を定める条例の一部改正について」は、現行の議員定数を20人から18人とする内容で可決しました。
※議案の賛否の状況は3ページをご覧ください。

主な市長行政報告

6月14日分

●毛虫の大量発生について

4月から市内各地で毛虫「オビカレハ」が大量発生し、申請のあった自治会やコミュニティ協議会に市有噴霧機械の貸し出し・薬剤の支給を行った。5月末で終息した。

●二市一町新ごみ処理施設建設予定地について

建設予定地としている国際大学用地の周辺集落を中心に、3月中旬から集落での説明会を開催し、さまざまな意見、質問をいただいている。今後は住民参加の先進地視察や講演会などを行い、さらに説明会を開催する予定である。

●2件の寄附金について

1件目は、旧湯之谷村収入役を務められた大沢の橋誠様が昨年12月にご逝去され、新潟市在住のご子息から、湯之谷地域のために役立ててほしいということで200万円をご寄贈いただいた。

2件目は、神奈川県藤沢市在住の下村修市様から、御母堂の下村ツヤ様が竜光の出身で昨年ご逝去され、市の行政に役立ててほしいということで30万円をご寄贈いただいた。下村ツヤ様ご本人からも平成24年に多額のご寄贈をいただいていた。

7月4日分

●名誉市民のご逝去について

旧広神村出身の橘雅茂様が6月7日にご逝去された。

●市有施設におけるブロック塀の調査結果について

6月18日に発生した大阪府北部を震源とする大規模な地震によりブロック塀等が倒壊したことを受け、本市の市有施設におけるブロック塀の緊急調査を行った。損傷や傾斜がある施設については詳細な調査を行うとともに、危険性が高いと判断したものについては早急に修繕もしくは撤去を行う。なお、通学路についても現在調査している。

●平成28年度決算公会計財務書類の公表について

平成28年度決算の公会計財務書類をホームページで公表する。

●学校教育物品の譲与について

大相撲伊勢ヶ濱部屋との交流が深い「一般社団法人どすこい越後」から、不用となった児童用机、椅子等の学校教育物品の譲与依頼があった。利用目的は、伊勢ヶ濱部屋の第70代横綱日馬富士関が、故郷モンゴルで建設を進めている小中一体の学校で利用したいというもので、モンゴルでは調達が非常に困難だと聞いている。建設中の学校は日本とモンゴルの架け橋になるような人材育成を行うという教育理念であり、公益性も兼ね合わせていることから、旧井口小学校で使用していたものを譲与することとした。

第2回定例会補正予算

会計名		補正前の額	補正額	計	主な内容
平成29年度	一般会計(第8号)	280億7,640万円	3億8,000万円	284億5,640万円	特別交付税・豪雪に伴う国庫補助金の追加、道路除雪経費、ふるさと納税委託経費の増額変更、公共施設整備等基金への積立金追加、各事業の実績見込みに伴う所要額の調整、財源内訳の調整など
	国民健康保険特別会計(第4号) 事業勘定	42億5,600万円	2,500万円	42億8,100万円	療養給付費等の実績見込みに伴う調整など
	後期高齢者医療特別会計(第3号)	8億1,310万円	△390万円	8億920万円	広域連合納付金等の実績見込みに伴う調整など
平成30年度	一般会計(第1号)	277億7,000万円	2,200万円	277億9,200万円	県知事辞職に伴う選挙経費の追加
	一般会計(第2号)	277億9,200万円	9,690万円	278億8,890万円	県の事業に関連する予算の追加、市有施設の工事・修繕費の追加、東北電力線下補償料地元交付金の追加、住宅リフォーム支援補助金の追加など
	一般会計(第3号)	278億8,890万円	500万円	278億9,390万円	平成29年度の豪雪災害が原因で死亡された方の遺族に対する災害弔慰金の追加
	ガス事業会計(第1号) 資本的支出	2億7,000万円	1億1,000万円	3億8,000万円	水の郷工業団地におけるガス製造所施設の増設費用の追加

第2回定例会議案等

◎＝全会一致、○＝賛成多数で可決・承認・採択・同意、適任、×＝否決・不採択・不承認

議案番号等	付議事件	議決結果
予算	議案第44号 専決処分の承認（平成29年度一般会計補正予算（第8号））	◎
	議案第45号 専決処分の承認（平成29年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号））	◎
	議案第46号 専決処分の承認（平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号））	◎
	議案第49号 専決処分の承認（平成30年度一般会計補正予算（第1号））	◎
	議案第50号 平成30年度一般会計補正予算（第2号）	◎
	議案第51号 平成30年度ガス事業会計補正予算（第1号）	◎
	議案第73号 平成30年度一般会計補正予算（第3号）	◎
条例	議案第47号 専決処分の承認（税条例の一部改正） 地方税法の改正に伴い、主に文言を整理するもの	◎
	議案第48号 専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部改正） 地方税法等の改正に伴い、低所得者の保険税軽減を拡充するもの	◎
	議案第52号 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 夜間看護手当の増額	◎
	議案第53号 税条例等の一部改正 主にたばこ税に関する改正及び生産性向上特別措置法施行に関する改正	◎
	議案第54号 職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正 学校教育法の改正に伴い、条ずれを整理するもの（第104条の2第4項第2号を第104条第7項第2号に）	◎
	議案第55号 放課後児童健全育成事業実施に関する条例の一部改正 広神西よつばクラブの実施場所を広神西小学校に変更	◎
	議案第56号 守門健康センター条例等の一部改正 引用法令の表記の整理など、介護保険法等の改正に伴い規定を整備するもの	◎
	議案第57号 介護保険条例の一部改正 介護保険訪問調査員を7人以内から10人以内に変更	◎
	議案第58号 在宅介護サービスセンター条例の一部改正 利用者一部負担金の割合の変更など、介護保険法の改正に伴い規定を整備するもの	○
	議案第59号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 放課後児童支援員の資格基準の改正	◎
議案第60号 地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 主任介護専門員の定義の改正	◎	
議案第61号 観光施設等条例の一部改正 福山峠緑のふるさと広場キャンプ場オートサイトの新設による使用料の変更	◎	

議案番号等	付議事件	議決結果
その他	議案第62号 庁舎建築工事請負契約の締結について	◎
	議案第63号 庁舎電気設備工事請負契約の締結について	◎
	議案第64号 庁舎機械設備工事請負契約の締結について	◎
	議案第65号 財産（ロータリ除雪車）の取得について	◎
	議案第66号 財産（ロータリ除雪車）の取得について	◎
	議案第67号 財産（除雪ドーザ）の取得について	◎
	議案第68号 財産（除雪ドーザ）の取得について	◎
	議案第69号 市道路線の認定について 吉水地内から堀之内地内の大石原線と、赤土地内の赤土34号線	◎
議案第70号 市道路線の変更について 吉水地内の舟山11号線・舟山14号線と、大塚新田地内の大塚4号線・大塚3号線・大塚6号線・大塚14号線	◎	
議案第74号 損害賠償の額を定めることについて 職員による交通事故の人身に係る損害賠償額の決定	◎	
人事	議案第71号 人権擁護委員候補者の推薦について（赤土 櫻井鉄夫氏）	◎
	議案第72号 人権擁護委員候補者の推薦について（大白川 浅井順子氏）	◎
	同意第2号 監査委員の選任について（根小屋 星野武男氏）	○
請願・陳情	陳情第1号 核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出に関する陳情	◎
	請願第2号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書	◎
議員発議	発議第2号 日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出について	◎
	発議第3号 市議会の議員の定数を定める条例の一部改正	○
	発議第3号 継続審査の動議	×
	発議第4号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	◎

議案賛否の状況

賛否が分かれた上表の網かけの議案等について掲載 ○＝賛成 ●＝反対・態度保留・棄権等 欠＝欠席 ー＝除斥（※議長は議案議決に加われない案件です。）

議案番号等	議決結果	合計		しんせいクラブ				新魚沼クラブ			創生市民の会			日本共産党		みらいの風			会派所属なし					
		賛成	反対	関矢孝夫	富永三千敏	渡辺一美	遠藤徳一	志田貢	本田篤	森山英敏	佐藤敏雄	岡部計夫	大平栄治	佐藤肇	大屋角政	大平恭児	大桃俊彦	浅井宏昭	星野みゆき	星直樹	大桃聡	高野甲子雄	森島守人	
同意第2号	同意	17	2	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	原案可決	15	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	原案可決	15	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号 継続審査の動議	否決	3	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○

視覚障がい者支援の取り組みを問う



浅井 宏昭

答 タクシー券の交付などを行っている

問 視覚障がい者の方は移動手段が限られていることから、家から出たくない、または出られないという方が多数いるのではないかと考える。視覚障がい者の移動手段として、乗り物券の支援ももちろん、そのほかにか力を入れていくべきことはないか。

答 タクシー券の交付などのほか、要件に該当する場合は外出時の支援サービス費用の助成による移動の支援を行っている。公平性の観点から、現段階ではこれ以上の支援は難しい。

魚沼音声訳の会について

問 魚沼音声訳の会という会員数15人ほどのボランティア団体がある。この会は、助成金とボランティア会員からの会費、合わせて年間16万円程度の資金で運営をしている。現在使用しているパソコンが1台もしくは数台不具合で使用できなくなった場合は、市報の音声訳はどうするのか。

答 他のボランティア団体との公平性の観点から、機材などの故障については、できるだけ会の運営費の範囲で対応いただきたい。

魚沼市の生き方改革「健康寿命の延伸策」を問う



佐藤 敏雄

答 健康づくりへの関心を高めるよう啓発に努める

問 我が国の平均寿命は、男女とも香港に次いで世界第2位の長寿命である。一方で健康寿命との差は、女性が12・4年、男性は8・8年だ。この差の期間は、要介護や寝たきりなどで自立した生活を送ることができない期間で、当事者の不安や家族の負担は計り知れない。また、このことが病院のベッド不足や医療費等社会保障費の増大につながっており、この解決策について4点の提案をするが、市長の見解を問う。

- 1 高齢者の「生きがいづくり」が大切ではないか。
- 2 健康な生活習慣の確立のため、健康教室の実施や健康診断の受診率向上、各種健康スポーツの奨励をすべきではないか。
- 3 口腔衛生が健康寿命を大きく左右するため、住民基本健診に取り入れるべきではないか。
- 4 終末期医療で「本人の意に反する延命策をとらない」他県の例もある

り、元気なうちに意思表示を記す取り組みをしてはどうか。

答 1 生きがい活動は大切であり、高齢者が活躍できる環境づくりに今後も取り組んでいく。

- 2 健康ポイント制度で健康づくりの意識向上や運動習慣の定着促進を図っている。また、受診率向上のため土曜・日曜の健診や、半日がん検診と健康診査を一度に受けられる総合健診、女性が受けやすいよう予約制のレディースデイ検診の実施などに取り組んでいる。
- 3 7月から妊婦を含む成人と後期高齢者を対象とした歯科健診を開始する。
- 4 魚沼市社会福祉協議会が「エンディング・ノート」と呼ばれる、本人の意思決定の尊重に関する普及活動に取り組んでおり、市としても推移を見守りたい。

平成30年度以降のスキー場運営を問う



星 直樹

答 平成31年10月までは市がシーズン前の整備を行う

問 1 平成29〜30年シーズンを

終え、今シーズンは使用できたが来シーズンにはシーズンを通して正常に動くか不安な圧雪車がある。市からの援助はあるのか。

- 2 市内共通シーズン券の作成と、小・中学生の半額補助で利用者の利便性はもちろん、活用実績をスキー場再編の検討材料としてはどうか。
- 3 シニアに対するシーズン券及びびスキー教室に対する補助で健康増進、医療費軽減を考えてはどうか。
- 4 長岡・小千谷方面のスキー授業について、各スキー場がそれぞれ学校や行政にアプローチするよりも、観光振興室が窓口になり、一緒に営業をしたらどうか。

答 1 平成31年10月までは、市

- が予算の範囲内でシーズン前の索道施設とゲレンデ整備車の整備を行う。
- 2 市内共通シーズン券は、スキー場ごとの精算方法が課題で導入が進んでいないようだ。各スキー場に特色があり、営業の取り組み方もさまざまである。各事業者に対応いただく。
- 3 シニア券を販売しているスキー場は複数あるようで、結果的に健康増進につながっていくことはありがたい。当面、補助は考えず今後もその経過を見守っていききたい。
- 4 各事業者が主体となって営業活動を行っていただくのが適当と考える。

コシヒカリ紅葉マラソンのさらなる発展を



大桃 俊彦

答 魅力あるイベントとなるよう支援していききたい

問 1 大会後の反省内容と今後の検討課題は何か。

- 2 市民参加体制の強化による機運の高揚策は何だと考えるか。
- 3 コシヒカリ紅葉マラソンの発展的成功に向けて、企画段階から市民参加を募ってはどうか。

答 1 参加者が減少しているこ

- とや、ほかのイベントと重なったことなど、PR不足や日程調整の必要性などが挙げられていた。
- 2・3 市民公募を含めた多くの団体から実行委員会に入っていたいている。魚沼らしい魅力のある市民を挙げてのイベントとなるよう、より多くの方から参加・協力いただきながら、行政として積極的に支援していききたい。

地域活性化及び自然保護学習の場について(湯之谷小学校に隣接する薬師山・慈眼寺山の整備)

師山・慈眼寺山の整備)

問 1 子どもたちの自然学習の場、市民の憩いの場等として、各種団体の考えを取りまとめたいニシアチブをとる考えはないか。

- 2 教育、地域活性化、農林、観光環境等の補助事業の情報を広く各種団体に提供し、サポートする考えはないか。

答 1 市が主体となって整備する計画はないが、地元の薬師・鳴倉コミュニティ協議会が慈眼寺山周辺の整備を検討している。

- 2 まずは自治会、コミュニティ協議会が主体となって取り組んでいたが、必要に応じてサポートさせていただきます。

高齢者の交通事故対策を問う



佐藤 肇

答 自主返納者への支援や公共交通の充実を図る

問 魚沼市のような中山間地域では、自家用車以外の交通手段が乏しく高齢者の免許自主返納は進まない。近年、衝突回避自動緊急ブレーキなど安全運転支援装置を搭載した自動車が販売されている。市で購入費を助成し、高齢者の加害事故防止に取り組み考えはないか。

答 安全運転支援システムが完成品とは言い切れない現段階においては、購入費の助成制度は時期尚早と考える。自主返納者への支援、乗合タクシー等の公共交通の充実や移動販売車の導入による高齢者の生活支援を図り、事故防止対策を進める。

魚沼市の都市計画を問う

問 1 用途指定がない井口新田から吉田にかけて、大型商業施設の進出が続き、周辺の宅地化も期待できる。用途指定地域の市道沿線が農地のうちに、道路拡幅や水路整備を先行投資し、優良な宅地となるように計画してはどうか。
2 民間と協力し、PFIの手法で都市インフラの整備、開発を進めてはどうか。

答 1 用途地域内は、ある程度道路や上下水道、水路等が整備されており、宅地化に誘導できる環境が十分整っているものと認識している。動向を見極めながら対応していく。
2 今後の検討課題とする。

不登校対策を問う



星野みゆき

答 学校と連携しながら支援・指導に当たっている

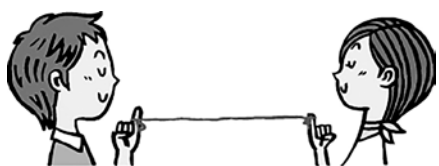
問 不登校の子どもをひとりでも減らしていくことが、これからの魚沼市の大きな課題だと考える。近隣市では、不登校対策のチームを作ったり教育センターに臨床心理士を配置するなど、かなり不登校問題に力を入れているが、魚沼市は不登校問題に対して、どのような対策、対応を講じているか。

答 温かい学級づくり支援事業を始めて5年目になり、新たな不登校を生まないよう取り組んでいる。学校では初期対応として家庭連絡や電話での状況把握、家庭訪問などを行っている。教育委員会としては支援員や指導員を増員するなど、学校と連携しながら関係者と子どもたちの支援・指導に当たっている。

婚活支援について

問 年配の方々の活躍の場をつくるという点からも、婚活事業の一環で昔の仲人さんのような方々を活用して婚活サポーター制度を取り入れてはどうか。

答 独身者の意向や地域ぐるみで支援活動を行う体制の整備について、県や近隣自治体の取り組みを参考に研究する。



魚沼市発注工事の検査を問う



大平 栄治

いる

関係法令を遵守し務めて

問 魚沼市斎場外構等整備工事で、廃棄物処理の状況写真が存在しないのは大きな問題である。市の監督員は施工業者に工事写真の提出を求めるのが一般的だ。ましてや、本工事は廃棄物処理で3,000万円余り増額変更となったものだ。設計変更部分の証拠写真がないのは、いくら市長が監督員の権限をいっても市民に説明できない。市長、監督員、検査員は失格だ。

は、今後の経費削減策と聞いている。これを実施した場合どのようなようになるのか。

2 施設全体を指定管理とするような話はどこまで進んでいるのか。

答 **1** 建設以来20年以上経過しているため、老朽化による修繕料、工費が寿和温泉の維持管理費を押し上げており、改修によって施設の長寿命化と修繕料の抑制を図る。また、機械設備の見直しを行い、給湯設備などの効率的な運用により経費の削減に努める。

答 関係法令を遵守し務めていく。また、指摘の工事においては代表箇所での写真撮影となっており、その写真と監督員への聞き取りにより変更内容について問題がないものと判断した。

寿和温泉の大規模改修を問う

問 **1** 今回の大規模改修の目的

2 大規模改修を契機として、地域の憩いの場としての機能を維持するとともに、施設ごとに利用実態に合った運営方法について、地元関係者と指定管理制度への移行も含めた協議をしていきたい。

リフォーム補助支援をプレミアム商品券で



遠藤 徳一

付していきたい

これまでどおり現金を交

問 現金による補助ではなく、商工会と協議しプレミアム商品券等を発行してはどうか。家電商品等の対象外工事でも、商品券を利用して商店街等で購入できれば更に経済好循環になるがどうか。

の中で当市の中心地拠点化策はどうしていくのか。まちなか居住等を促進し、自立化が必要だがどうか。

2 図書館やスポーツ施設など、各自治体がフルセットで持ち合わせる必要がないとされている公共施設等の対策はどうか。

答 **1** 定住自立圏の取り組みにおいて、本市の中心地拠点化については検討していない。まずは本市の都市計画マスタープラン、立地適正化計画に基づきまちづくりを進めていく。

答 補助金申請者の多くは、補助金を工事代金の支払いに充てることを見込んでいるものと思われる。仮にプレミアム商品券で交付する場合には、工事費の支払いに対応できないことが考えられるほか、手法的に難しい面もあり、これまでどおり現金を交付していきたい。

定住自立圏構想に係るスケールメリットをどのように生かしていくか

問 **1** 人口集中地区の消滅で国からの支援が難しい状態だ。広域圏

2 現在、図書館やスポーツ施設の相互利用を目指し、利用条件等を検討している。また、2市1町で組み処理施設の建設に向けた作業を進めているほか、し尿処理施設を今年度から供用開始している。

新知事誕生を受け連携を期待する



本田 篤

答 地域の課題の解決に向けて連携していきたい

問 県知事と、今まで以上に強い連携を期待する。まずは信頼関係の確立も大切だ。花角新潟県知事とどのように意思疎通を図るのか。

響等による建設資材の調達の遅れなどが生じた場合には、変更・延長の要否を含め検討する。

教科書採択について

問 1 「子どもたちのために」という視点で検討採択すべきである。選定は、どのように透明性を持たせているか。

2 道徳の教科書はいじめ問題に真剣に取り組んでいる教科書を望むかどうか。

合併特例債について

問 発行期限を再延長する改正特例法が国会において成立した。発行期限をさらに5年間延ばすと、魚沼市の場合には合併後20年となり、庁舎建設完了時期の延長などメリットは大きい。再延長に向けて計画を変更し申請してはどうか。

答 新庁舎は現在の発行期限内に完成する予定である。しかし、東京オリンピック・パラリンピックの影響

答 1 小千谷市、南魚沼市、湯沢町及び本市で構成する魚沼・小千谷地域教科書採択協議会において、調査員が行う調査研究や、保護者を含めた選定委員会での幅広い意見の集約など、段階を踏み慎重な選定が行われる。選定委員会も適正で公正な選定ができるようメンバーや会議は非公開としている。その報告を受けて教育委員会が採択する。

2 いじめや命の問題などについても十分に考慮されると考えている。

共生型サービスの取り組みを



志田 貢

答 情報収集しながら進めていきたい

問 共生型サービスは、高齢者と障害者及び障害児が同一の事業所でサービスを受けやすくなるなどメリットが大きい。魚沼市障害者計画・第5期魚沼市障害福祉計画・第1期魚沼市障害児福祉計画で「地域の実情に合わせたサービスの展開について国・県をはじめ、近隣市町の動向を見守りながら、情報収集に努め、必要な対応を検討します」としてい

るが、他市の動向を見てからという後発の姿勢ではなく、積極的に行うべきと考えるがどうか。

答 サービスの提供を行うには指定期間を満たす必要があることから、事業所の意向なども考慮して進めていく必要がある。情報収集に努めながら対応していきたい。



共通ポイントカード導入支援を問う



富永三千敏

答 商工会の意向を踏まえ、引き続き支援していく

問 市内商工会などが共通ポイントカード導入を検討し、国の支援事業「地域商業自立促進事業」に申請したが採択されなかった。参加事業所増と商業発展のための支援は何かあるか。

取り組んでいる人、特に60代、70代の女性が多く、元気ポイントをきっかけに運動を始めた人は少ない結果となった。事業の見直しを行いながら周知に努めていく。

マンホールカード作成について

答 商工会やスタンプ会の意向を踏まえたうえで、共通ポイントカードの導入支援や参加事業所の増加に向けた対策など、引き続き支援していく。

問 下水道広報プラットフォームで企画されている同カードは平成28年4月から全国で発行され、今年4月で発行自治体301、カード種類は342となり、入手目的の交流人口が拡大している。当市も作成すべきではないか。

問 昨年度からの「うおぬま元気ポイント」事業の現状と今後の見通しはどうか。

答 本市も平成28年度に発行の申請をしたが不採用となった。ご指摘のように一部のマニア向けコレクションカードとなっており、市民サービスを優先することから、現時点での再申請は考えていない。今後の状況によっては検討したい。

答 昨年度は4月から9月まで170人、10月から3月まで214人の参加があったが、まだ認知度が低い。参加者の内訳は、日ごろ運動に

絵画「カヤブキの民家」の寄贈について



岡部 計夫

答 受け入れ施設の検討をする

問 1 昨年9月に地元画家早津剛氏から、自身の作品が全国のフアンの要請により市外に流出する前に、住み慣れた地元魚沼市に長く展示してほしいとの思いから、自作の絵画50号50枚、鑑定評価1億5,000万円相当の作品を魚沼市に寄附したいとの申し出があった。市長は明確に答えていないと聞いているが、見解を問う。

空き施設の活用の中で受け入れ施設の検討をすることを早津氏にお話している。

2 法律の改正の趣旨に沿って進めていきたい。

再犯防止推進法について

問 国は「地方再犯防止推進計画」を策定するよう地方自治体に通達していると聞く。今後の市としての取り組みはどうか。

2 文化財の保護から文化財を利活用することで地域振興に結び付けていくよう法律の改正が行われる予定である。上条小学校に収納されている文化財を市内の空きスペースに展示し、観光振興や市民の理解に結びつける考えはあるか。

答 県では今年8月ごろに、計画策定支援を目的とした説明会を初めて開催する予定である。情報を収集し、適切な時期に計画策定に取り組む。

答 1 申し出をいただいた時点で、現在適正な状態で保管できる施設がないことから、新庁舎建設及び

芝桜植栽事業を実施してはどうか



大桃 聰

答

地域と一緒に検討したい

問 福井県大野市で行われている防草シートと芝桜による法面の雑草対策と景観づくりを当市でも取り組んではどうか。

答 さまざまな分野への相乗効果や地域活性化につなげていけると考え、地域を巻き込んで検討したい。

小出郷図書館のビル購入について

問 旧オガワビルについて、所有者と取得に向けた合意ができた後も一切報告しなかった。手続きなど議会軽視で問題があると思わないか。

答 必要に応じて議会に説明し、議決いただいた予算を執行したものである。

代表監査委員について

問 代表監査委員は人格が高潔と思うが、自身では「財務管理、事業の経営管理その他の行政運営に関し優れた識見を有する者」と思っているか。

代表監査委員答弁 自己評価については、答弁を差し控える。

職員のハラスメント処分について

問 職員のハラスメント処分はその行為が6年間と悪質であり、戒告では処分が甘くないか。

答 魚沼市職員の懲戒処分に関する指針に基づき、非違行為の具体的内容から戒告処分が相当であると判断した。

原発事故の「3つの検証」をどう考えるか



大屋 角政

答

視していく

検証委員会の動向等を注

問 新潟県では、3つの検証を総括する「総括検証委員会」を今年1月に設置した。①事故原因を検証する委員会②健康と生活への影響を検証する委員会③安全な避難方法を検証する委員会である。この3つの検証委員会は、日本では初めてのものである。原発事故が起こっても住民の安全と命を守るか、守れないようであれば原発を動かさない、原発をなくしていく方向が導き出されると考えるが、市長の見解はどうか。

問 市独自の米政策を問う。
1 過去5年間の減反率と今年度の減反率はどうか。
2 主食用コメ以外の農産物生産が予定として増えているか。

答 1 平成25年度の減反目標達成率は94・5%だったが、年々目標面積の数値が厳しくなり、平成29年度は83・4%となった。今年度は国から作付面積の目標数値が示されなくなり、魚沼市農業再生協議会において平成28年度と同じ減反目標数値を設定した。まだ確定していないが5月31日時点で89・3%となっている。
2 年により助成内容が異なることなどから若干の変動はあるが、ほぼ横ばいの状況となっている。

答 原子力発電所の是非については、市民の生命と財産を守るべく、安全性の確立を最優先に考えたいという考えに変わりはない。検証委員会の動向を注視していく。

公文書規定を条例化すべきだ



大平 恭児

答

今後の課題とする

問 公文書改ざん隠ぺいやごまかしが国会で大問題になっている。市長は、公文書はそもそも誰のため何のためにあると認識しているのか。

答 公文書管理法に規定されているとおり、公文書を適切に作成することは、市民に対する説明責任を果たすうえで、また、市民の知る権利を尊重するうえにおいても必要不可欠なものとして認識している。

民主主義教育について

問 昨今、若者の政治離れは深刻だ。今後の地域社会を担ううえで、もっと政治に関心を持つことが重要であり、教育に民主主義を根付かせることが必要だ。多様な意見を議論する場をつくるべきではないか。

答 5年目の取り組みとなつてい

る温かい学級づくり支援事業において、ただ単に先生が出した問題に対して解答するのではなく、友だち同士で話し合いながら新たな答えを見つめたり、人の意見を聞きながら自分の考えを深めたりしていく学び方を目指している。

文化財の有効活用について

問 国は、文化財を保存ばかりではなく、市民がその価値を共有し活用することを指針として示している。文化財の有効活用について市はどう考えているのか。

答 地域の宝であり、学校の授業においてもその歴史と価値を学んでいただいている。観光資源としても有効であり、文化財の保存と活用のバランスをとりながら事業を進めていきたい。

入広瀬地域に保育園の設置を



高野甲子雄

答

現行の体制で運営していく

問 共働き家庭、核家族化の増加で、子育てにおける保育園の存在意義は益々大きくなっている。入広瀬地域はこのままだと小学校入学児童がいなくなる恐れがある。早急に保育園の設置を図り、子育て支援を充実すべきと考えるがどうか。

答 入広瀬地域の就学前児童は、入園児童の減少により現在ずいぶん少なくなっている。保育園と併せている入広瀬幼稚園の園舎には、3歳未満児を対象とした入広瀬保育室を設置している。この体制で運営していく。

家庭科授業で食事作りの楽しさを

問 1 食育基本法では、「食」は生きるための基本であつて知育・徳育・体育の基礎となるべきものと

位置付け、国民運動として取り組まれた。市における家庭及び学校、保育所における施策とその成果はどうか。

2 食事作りなどの家庭科授業の充実を考えているか。

答 市では「魚沼市食でつながる元気なまちづくり推進計画」として食育推進計画を策定し、県保健所と協同での「かるしお」普及事業などを実施している。市内の小中学校では食育講演会や「かるしお給食」の一斉実施、保育園においても食育計画を策定し、食の楽しさや大切さを伝える取り組みなどを実施している。すぐに成果が出るものではないため、継続的に取り組んでいく。

2 各学校で調理実習のほか、学校給食の時間を利用した食育活動を行っている。

総務委員会報告

6月15日

1 審査事件

議案第62号

魚沼市庁舎建築工事請負契約の締結について

議案第63号

魚沼市庁舎電気設備工事請負契約の締結について

議案第64号

魚沼市庁舎機械設備工事請負契約の締結について

工期の都合により早期に議決する必要があったため、委員会を開き審査した。

問 工程が厳しく、議会議決を急ぐことを求めているが、新庁舎の工期と金額については市長選での争点で市長の公約。したがって、工期、金額を守るのは市長の責任ではないか。

答 豪雪地域であり、余裕を持って工事に着手したく早期の議決をお願いしたものである。

問 非常に入札参加企業体が少ない。特に機械設備の場合は1社しか

なく1回目は不調で2回目になっているが、厳しい条件設定がなされたからではないか。

答 最初の入札をし、そこで予定価格に至らなかった場合は再入札をその場で行う。今回は1回目の入札で予定価格以下に達せず、再入札した。したがって、業者にとつては、より予定価格に近い、あるいは同額で落札できれば一番理想だが、初回ではそれに至らなかったということ。結果、2回目の金額が予定価格を下回り落札となった。

※原案可決すべきものと決定。

6月25日

1 審査事件

議案第53号

魚沼市税条例等の一部改正について

問 市の税収として何が変わると予想するか。

答 加熱式たばこがどのくらいの需要があるのかは把握していない。ただ、たばこ人口の減少を考慮し、税収は毎年若干下がっていくと予測している。

※原案可決すべきものと決定。

議案第52号・54号

※原案可決すべきものと決定。

福祉文教委員会報告

6月4日

1 現地調査（入広瀬中学校・守門中学校・湯之谷小学校）

入広瀬・守門中学校の統合準備について、予定どおり進捗していることを確認し、統合後の入広瀬中学校体育館の利用について質疑した。湯之谷小学校では施設の現状と授業の様子、給食時の視察を行った。全校児童が給食を食べるランチルームの



湯之谷小学校

テーブルが低学年児童の体格に合っていない状況について、執行部に対応を質疑した。

2 第7期介護保険事業計画等について

執行部より、3月に策定した計画の説明を受けた。市の65歳以上の人口は1万2,701人、要介護認定者が2,379人、認定率が18・7%となっている。また、高齢者の相談体制を強化するため、4月から小出・湯之谷地域を対象とする南部地域包括支援センターを開設し、順調に稼働しているとの報告を受けた。

問 この計画期間中に特別養護老人ホーム50床を整備する予定だが、場所は決まっているか。

答 まだ決まっていない。今ある施設が活用できるのかも含め、地域や事業者の意見を聞きながら進めていきたい。

問 介護人材不足でサービス提供を縮小する事業所がある。この状況での50床整備をどう考えているか。

答 事業所の計画を伺い、市内だけで難しい場合にどうしていくかも含め考えなければならない。

6月26日

1 審査事件

請願第2号

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書

※採択すべきものと決定。

議案第57号

魚沼市在宅介護サービスセンター条例の一部改正について

8月から現役並みの所得を有する方の介護保険の利用者負担割合を2割から3割にする改正であり、討論が行われた。

反対討論

●利用者負担の増額は反対である。

賛成討論

●保険制度維持のため応能応分負担が必要である。

※賛成多数で可決すべきものと決定。

議案第55号・56号・58号・60号

※原案可決すべきものと決定。

2 その他

- 魚沼市医療公社の平成29年度決算について
- 魚沼基幹病院の運営状況等について
- 旧県立小出病院敷地の譲渡契約締

結について

- 堀之内医療センター整形外科診療を毎週実施することについて
 - 教育委員会所管施設のプロック塀等の危険箇所点検状況について
 - 湯之谷小学校ランチルームのテールについて
- それぞれ質疑を行い、引き続き調査することとした。

産業建設委員会報告

5月21日

1 有機センター視察について



JA津南町堆肥センター

南魚沼広域有機センター、JA津南町堆肥センター、小千谷市堆肥センターの現地視察後、総括を行った。

- 2 ふれあい交流センターこまみの業務委託について

4月から管理運営業務委託となっており、状況について説明を受け、質疑を行った。

問 委託期間が1年だが、継続もあるのか。

答 将来、指定管理を目指す中で必要があれば来年度も委託に出したい。

問 委託料はいくらか。

答 入札の結果2,285万円で契約した。

3 魚沼市宿泊代金割引事業について
昨年と比較し割引件数で70件、利用者数で382人の増となり、客足が落ち込む冬期間の集客に効果が得られ、アンケート結果では99%の再来訪の意向があるという報告を受けた。

6月27日

1 審査事件

議案第61号

魚沼市観光施設等条例の一部改正について

問 条例改正の背景はどういうものか。

答 入込客の増大を目的に、キャンプ場の芝生内に車が乗り入れできるように利便性を深めた。

問 市内でほかに整備する計画はあるか。

答 北部地域の拠点施設としての整備であったが、ほかにも必要がある場合は検討する。

※原案可決すべきものと決定。

議案第70号

市道路線の変更について

問 大塚新田地内の落橋する橋に水管が通っているが、どうなるのか。

答 添架してある用水管については、機能補償により完了している。

問 国道17号の上の工事だが、どのように行うのか。

答 夜間、時間を区切り通行止めをして作業する。工事は2、3日で終わる。

※原案可決すべきものと決定。

2 その他

- 内水対策事業(四日町地区)について
 - 魚沼市景観計画策定について
- それぞれ質疑を行った。

公共施設再編整備 特別委員会報告

6月8日

1 現地調査及び総括

広神庁舎、湯之谷庁舎、堀之内庁舎を視察し、総括を行った。

●市民にとっていろいろな拠点となる活用方法を検討し、また、第三者の意見も取り入れながら進めるべきである。



堀之内庁舎

●庁舎機能がなくなり空洞化とならないよう、周りの公共施設のあり方とあわせて市民と共に検討すべきである。

●湯之谷庁舎は有効活用しやすい施設ではないか。

●避難場所の機能をどうするかもあわせて検討が必要である。
2 既存庁舎のサウンディング調査について

8月にサウンディング調査を実施

して民間事業者から既存庁舎の活用方法についてのアイデアを募集した。いとの説明を受け、質疑を行った。

問 庁舎全体の提案をいただくのか、それともフロアや区画ごとの提案でもよいのか。

答 建物全棟またはフロアごとなど、事業者の提案による。

問 調査に参加できる事業者は個人でもよいのか。

答 自ら事業等を行える法人等と考えている。

問 市民団体が使いたいという意向がある場合、参加できないのではないか。

答 庁舎を利用して事業ができるのであれば問題ない。

※サウンディング調査とは 市有施設の有効活用等について、民間事業者と対話（サウンディング）することで、市場性の有無や、アイデアの把握等を目的とした調査のこと。

議会改革 特別委員会報告

5月29日

1 議員定数について

議会報告会アンケート集計結果と、議会に関する市民意識アンケートをもとに議論を行った。

●2つのアンケート結果は、ほぼ同じ傾向で、3割近い方が現状維持としており、20人でいいのではないか。

●アンケート結果は、現状維持と削減で比較すれば削減のほうが多く、削減すべきと判断するのが妥当である。

●削減の回答の割合が67％、68％という結果を踏まえ削減すべきである。

●現状維持で、質を高め、議会報告会など市民との接触を多くし公開性を高める努力をしていくことが大事である。減らせば問題解決ということではない。

●18人でも16人でも一生懸命するのは当たり前のことである。

●26人から20人まで減らしてきたメリットが見出せない。削減のメリットは何か。

●減らしてきたデメリットもない。18人にしても、ないと思う。

※委員会としては統一見解は出ず、適当とする定数を20人が2人、18人が4人、16人が2人とした。

2 政務活動費について

●活動費の後払いは、やり方として委員会でも議論したほうが良い。

●活動費の後払いは問題ない。議会事務局でもチェックしており、監査も行われている。

●インターネットで公開している議会もある。透明性を図る取り組みとしてはどうか。

3 議会*タブレット導入について

●導入は2年後の新庁舎建設に合わせて議論すべきである。

●議案など全てタブレットでできるかどうかも含めて、検討すべきである。

●経費の研究を行い、予算要望できるところまで進めたい。

※議会タブレット導入とは 議会の運営にタブレットを活用し、ペーパーレスの推進及び業務の効率化を図ること。

議会の活動をお知らせします

議会に対するアンケートを実施しました

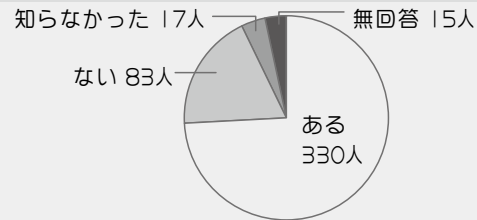
市民の議会に対する意識や関心度を把握することを目的に、市内にお住まいの18歳以上90歳未満の方から無作為に1,000人を抽出し、アンケートを実施しました。

445人（回収率44.5%）の方からご協力いただきました。

この結果を議会活動に活用してまいります。

アンケート結果の一部を紹介します (議会だよりについて)

① 議会だよりを読んだことはありますか



② 読んだことのある方は、どのページに関心がありますか (複数回答可)

表紙(写真等)	27人
定例会報告事項	114人
議案・賛否の状況	149人
討論等	50人
予算・決算	68人
一般質問	199人
委員会報告	54人
市民の声	93人
その他	8人
無回答	2人

③ 読んだことのない方は、手に取って読むためにどんな工夫があるとよいですか (複数回答可)

目立つ表紙	24人
写真の多用	48人
興味のわく特集	167人
大きな文字	80人
興味のわく見出し	92人
すっきりした見やすい紙面	103人
わかりやすい説明	243人
その他	17人
無回答	42人

アンケート集計結果は魚沼市議会ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。
このほか、今号では議会報告会についての結果を16ページに、議員定数についての結果を17ページに掲載しています。

6月7日 市内現地視察

次の事業の進捗状況について、全議員で視察しました。

水の郷工業団地



国道17号バイパス工事現場



子育ての駅「かたっくり」



このほかに

小出郷図書館

細野橋工事現場

寿和温泉

についても視察しました

平成30年第1回議会報告会を開催しました

5月7日、8日、9日の3日間、6会場で議会報告会を開催しました。2月定例会で審議された議案について報告し、参加者の皆様と意見交換を行いました。

貴重なご意見を今後の市政運営に反映していくよう取り組んでまいります。

いただいた主なご意見 ～委員会で調査・検討していきます～

- 議会はコミュニティ協議会の役割をどう考えているのか。
- ふるさと結基金が3億8,000万円とある。返礼品となる特産品の開発に重点的に使うべきではないか。
- 予算では人口減少の歯止め策や、5年後・10年後の将来ビジョンが見えない。議会でしっかり提言してほしい。
- エフエム魚沼がよく聞こえない。
- 介護予防の取り組みにもっと力を入れてほしい。
- 中央図書館の話があったが、空き施設に図書館を移すことはできないか。
- スキー場は今後どうなるのか。
- 美術品や書画などを展示する施設を、公共施設再編の中で検討できないか。
- エフエム魚沼で一般質問を聞いたが、品格の備わった魚沼市議会であってほしい。
- 議会報告会の参加が増えるようにしてほしい。

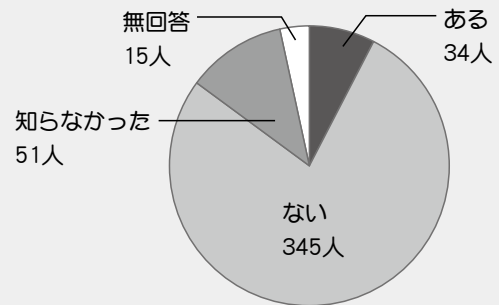
調査の経過は、議会だよりの委員会報告等で随時報告していきます

議会報告会についてのアンケート結果

(議会に対するアンケートより)

議会報告会は平成23年の試行から約7年経過しており、今後の検証の材料とするためアンケートを行いました。この結果を参考に今後の議会報告会のあり方等を検討します。

1 あなたは議会報告会に参加したことがありますか



2 議会報告会に参加したことのある方にお聞きします どのような内容・方法がいいと思いますか

(複数回答可)

今までどおり	5人
意見交換を多く	14人
会議の詳細を聞きたい	13人
テーマ別の意見交換会	15人
少人数の車座形式の懇談会	8人
意見交換会の観覧	3人
参加者全員で話す	7人
その他	3人
無回答	0人

3 議会報告会に参加したことのない方にお聞きします どのような理由から参加しないことにしましたか

(複数回答可)

日程が合わない	72人
時間帯が合わない	57人
子ども・高齢者がいる	22人
興味が無い	177人
その他	40人
無回答	20人

ご意見をお寄せください

議会報告会や意見交換の方法について、どのような形であれば参加しやすいか、ご意見をお寄せください。

議員定数20人から18人にする議案を可決

7月4日の本会議において、議員から「魚沼市議会の議員の定数を定める条例の一部改正」案が提出されました。現在の20人から2人削減し18人とする改正案であり、採決の結果、賛成多数で可決しました。これは次回の一般選挙から適用されます。

議論の経過

平成29年10月

- 議会改革特別委員会において、議員定数について調査検討していくこととした。

平成30年1月

- 議会改革特別委員会において、県内市議会との比較（定数、議員1人当たり人口など）、全国市議会の人口段階別にみた定数状況の調査を行った。

平成30年2月

- 議会改革特別委員会において、県内市議会の議会構成の状況を調査し、人数を変更した場合の議会構成（委員会）のシミュレーションを行った。

平成30年4月

- 「議会に対するアンケート」の中で、議員定数について市民から意見をいただいた。

平成30年5月

- 議会報告会において、会場アンケートで議員定数について意見をいただいた。
- 議会改革特別委員会において、アンケート結果を踏まえ議論したが、委員会としての意見は一致しなかった。

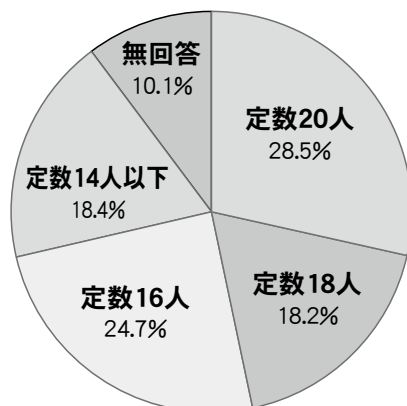
平成30年7月

- 2人削減する条例改正案を可決

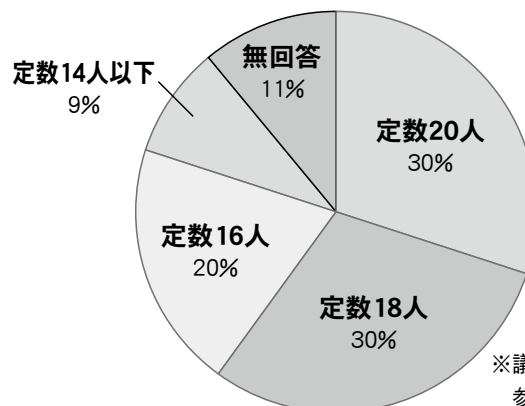
議会に対するアンケートの結果

問 現在の定数は20人ですが、何人が適当と思いますか。

平成30年4月実施



平成30年5月実施 ※



※議会報告会
参加者アンケート

アツイ

向松川 上村 守さん

熱く期待したサッカーのワールドカップは日本の大善戦で幕を閉じ、次に熱くなるのは高校野球、地域の期待を一身に受けて、暑い夏に健闘を期待します。

そういうえば少し前には新潟県中が熱くなった戦いがありましたね。県知事選でした。

こちらは県民の期待を全身に受け、これからの活躍に期待したいものです。

それにしても毎日暑い。夏場の外作業は非常にきつい。特に建設業は半分命がけです。

健康あつての仕事です。無理をせず自分の体力を過信せず、我慢して熱中症にでもなったら周囲も大変、自分は本当に大変、経験はないですが命にかかります。

熱中症対策はいろいろありますが、最後は自分の自覚です。

農作業も同じです。まだ暑い日が続きます。無理せず暑いときには一服しましょう。

魚沼市の宝物活用

佐梨 桑原郁夫さん

「魚沼市は良い物がいっぱいあるのに生かされていない感じがするが、地元の人はどう思っているのか」と、ある日、問いかけられました。例えば「山岡荘八」、「石川雲蝶」、「宮柊二」、「渡辺謙」等の人物や、「目黒邸」、「円福寺」、「開山堂」等の文化財です。これだけの物がありながら市民が盛り上がっていないのはなぜか不思議に思っていました。私も佐梨地域で暮らす中で、どうして山岡荘八の生家があのような形で放置され、もっと観光や教育に生かされないのか不思議でした。



そこで思うことは、これまで十分に活用されてこなかった人物や歴史文化財産の有効活用を検討・推進すること、市民が誇りや郷土愛を持つて活動し、長期的発展の軸となるよう願うものです。

本会議の映像配信をしています

本会議の映像をインターネットで配信しています。パソコンのほかスマートフォン、タブレット端末からも視聴できます。魚沼市議会ホームページにアクセスいただき、ぜひご覧ください。また、会議録も議会事務局、図書館(室)、ホームページで閲覧できます。

ご意見をお寄せください

魚沼市議会へのご意見をお寄せください。回答を希望される方は、必ず回答を希望する旨の記載をしていただくとともに、氏名及び住所をご記入ください。

なお、回答には、ご意見やご提案の検討や調整のために時間を要する場合がありますので、ご了承ください。

今回の堀之内高校美術部写真班です



4月から美術部に写真班ができ、3年生5人で活動しています。撮影会などに積極的に参加し、日々精進しています。

※今号より市内の高校に通う生徒の作品を表紙に掲載いたします。



あとがき

西日本を中心に記録的豪雨被害が拡大し、200人以上の死者、安否不明者・多数の負傷者が続出、建物やライフラインなどにも甚大な被害が出ました。

お亡くなりになりました方々のご冥福と被災された皆様にお見舞い申し上げ、一日も早く日常生活を取り戻し復興が進むことをお祈りいたします。

このところ想定外で、重大な災害の恐れのある「特別警報」が日本列島を襲っており、災害は、いつでもどこでもおきる可能性があります。

また、先月は、大阪北部地区で最大震度6弱の地震で多くの被害が出ております。

家具に転倒防止器具を付ける。非常食を備蓄する。揺れたらすぐに火を消す。日ごろの防災準備は大切ですが、災害では、まず自身の命を守る行動を取りましょう。

(佐藤敏雄)